

令和元年7月2日

保護者 様

磐田市立向笠小学校長 佐伯泰司

児童の登下校時の持ち物に係る配慮について

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対して、御協力・御支援をいただき、ありがとうございます。

子どもたちが使用している教科書は学習内容の増加や見やすさ分かりやすさを求めたユニバーサルデザイン化に伴い、以前に比べ大きく厚くなっています。さらに熱中症予防のための水筒等も持ち物となっているため、子どもたちの荷物は重くなってきています。一方で、登下校時の携行品が過重になることで、子どもたちの健康面に影響を及ぼす可能性があることも報道等で話題になっています。

昨年度、2学期末の学級懇談会で、子どもたちの負担を軽減するため、学校に置いていって良いものの例を示しましたが、再度、学校としての対応方針を下記のとおりお示しいたします。

については、御家庭においても子どもの携行品の重さや量を見ながら、通学上の負担軽減を図るよう、お子さんへの声掛けをお願いします。

記

- 1 日常的に家に持ち帰るものは、家庭学習で使用するものを中心に、以下のものを原則とする。家庭学習で使用する予定のない教材等については、各学級でまとめて保管する。なお、自主学習で個人的に使用したい教材がある場合は、この限りではない。

国語教科書 計算ドリル 漢字ドリル 自主勉ノート(3年～6年)

予定帳 連絡袋 本読みカード 筆入れ

- 2 週休日前には、衛生面を考慮して、以下のものを持ち帰ることとし、家庭で洗濯等を行い、週の初めには学校に持ってくるようにする。

上靴 白衣(給食当番のみ) 赤白帽子

- 3 書写の授業があった際には、汚れた筆は持ち帰ることとし、その他の用具は学校に置いておく。

- 4 絵の具のセットについては、パレットは学校で洗うこととし、学校に置いておく。

- 5 学期末等で持ち帰る荷物が多いたときには分散化して持ち帰らせたり、生活科で使用するアサガオの鉢等の大きな荷物は保護者に運んでもらったりするなどして、荷物の多さや重さだけでなく、両手がふさがらないようにするなどの安全面を考慮する。

担当 教務主任 (田中 智子) Tel. 38-0390
